

文化祭読書感想文入選作品

「尽きせぬ愛情」を読んで

菱海中学校三年一組 岡田智広

「生まれ出づる悩み」とは、人間が生まれたその時からの運命みたいなもの。

「生まれ出づる悩み」題からして何かとつきにくく思っていたのですが、読み終ってみると、作品すべてに自分に思いあたることがかりました。

主人公の本木少年はこんなかつこうをしていたのです。

「口の重たい、不機嫌そうな少年、こ汚い中学校の学生服の立てえりのホックをじゃまのようにはずしたままにしている」

第一印象の本木少年は、あまりよくありませんでした。気むずかしく、なげやりな性格の少年が頭に浮んできました。本木少年の絵に対する熱意から「私」に疑い深くなったり「どうでしょう、それなんかはくだらないでさだけれども」と自己を平気ですいたげるとうな態度に高慢ちきな少年という感じがします。しかし、そんな少年の態度とはまったく裏はらに絵は違っていました。鋭敏な色感とともに、ちゃんとまとまった気分がゆきわたっていて魅力的な絵でした。「十六、七の少年は、はぐくめそうにもない重い憂うつ」を感じ

じとりました。この出あいから少年の心もゆるむようになりました。また「じゃ、また持って来ますから見てください。今度はもっといいものをかきます」と言った素直で以外と無邪気さもほくの心をひきました。

原稿用紙にだけ向かって、みじめな苦しみを続ける「私」の心の奥にとても強い印象をのこして去っていききました。「私」と出会って十四、五年たったある日、本木少年からスケッチブック三冊と手紙が送られてきました。その手紙には「山が地上カラモリアガッテイルヨウニカイトミタイ」とかいてありました。山に心の奥底から愛情を抱いている人でないと表わすことのできないことばだと思えます。そして、カタカナを用いているところに、誠実さを感じさせられました。「私」は「誰も気が付かず」に注意も払われていない世界のある隅っこで、尊い一つの魂が母胎を破り出ようとして苦しんでいる」と考えます。そして、青年にせつないに会いたいと思って、一週間もたないうちに本木少年の所北海道に行きます。「私」の気持ちがとても大きく影響してい

ます。「私」は、その少年にあってひどく感動させます。

生活のために学業をなげうち、家業の漁業に精出す「少年」命がけで働いても全々らしくならない生活。しかしそんな中でも芸術へのあこがれと精心を守りぬく「少年」肉体労働のために弁慶さまのようにすぐたくましいからだをしているが、幼い女の子のようにやさしい敏感さを失わない「少年」逆境の中にどっしりと腰をおろして、生きていくために力いっぱい戦います。ところが、どうでしょう、ぼくたちは、この本木少年とはまったく違っていいほど忍耐というか家族思いではありません。生きるのがいやになったら死ぬ、生活のために学業をなげうつことなどできないのです。

この彼の心を、恋人のように一時も、つかまえてはなさないものが絵です。

家業にいそむ家族のことを思い暗い気持ちになって、さらに思っているようにかけない絵を見て、寂しくみじめな気持ちになります。死も考えます。しかし彼のとても強い意志と感情は、死を許しませぬ。耐えて、忍び煩悶しながら、

本物の山の雲をかきあげるために、じつとがんばりつづけるのです。この耐え、忍ぶことが、今ほくたち現代っ子にかけているのではないかと思えます。耐えないから非行の道へとすすむのだと思えます。「君よ春が来るのだ、冬の後には春が来るのだ、君の上にも確かに正しく、力強く永久の春がほほえみよかし……僕はただそう心から祈る」ということばに、本木少年への尽きせない愛がこめられているのだと思えます。

この作品を読んで、とても考えさせられました。どんなことにも耐え、力強く生きなければならぬのです。そうすると、やがてぼくたちの上にも春がきます。

めぐまれすぎている現在、この本木少年のような人が必要だと思います。この本木少年のように耐え、力強く生きていきたいと思えます。

町民駅伝大会終る

過る一月二七日第二七回油谷町民駅伝大会が、大浦保育所前より町役場前まで、二〇・八kmを六区間に分け中学校九チーム、一般一四チーム、計二三チームの参加のもとに沿道の町民多数の声援を受けて盛大にくり広げられました。

中学校の部では、菱中Aチーム地域の部では、蔵小田チーム。職員の部では、菱中OBチームがそれぞれ、優勝杯を手に入れました。

新春カルタ大会

新春カルタ大会を、次のとおり開きます。カルタ大会は明治のころ、新聞社の主催で、毎年正月に開かれたのがはじまりで、上の句をよんで下の句の札をとるものです。歌を全部おぼえておくのが早くとのる秘訣ということですが、誰でもできます。参加料は不要です。おさそい合せのうえ、おいでください。おまちいたしております。

日時 一月九日(日)

午前一〇時から

会場 油谷町中央公民館

主催 油谷町カルタ同好会

後援 油谷の文化を高める会

油谷町教育委員会

●初心者参加を歓迎します。

●当日は簡単な昼食を用意します。

町民マラソン大会終る

過ぐる一月二〇日(日)恒例の町民マラソン大会が三二名の参加のもとに、盛大に行われました。速い人も遅い人も、それぞれ自己のベストタイムを目指して、一生懸命走る姿に、応援の人々から送られる拍手も、止む暇がありませんでした。

(最高タイムの方は次のとおりです)

5 km	3 km	1 km
中学校 小林雅俊 16分53秒	小学校 村田和秀 11分39秒	小学校 後藤康成 10分16秒
中学校 中村敬一 17分24秒	小学校 藤井達行 10分45秒	小学校 松尾充真 21分30秒
一般 小林雅俊 16分53秒	小学校 藤井達行 10分45秒	小学校 松尾充真 21分30秒